

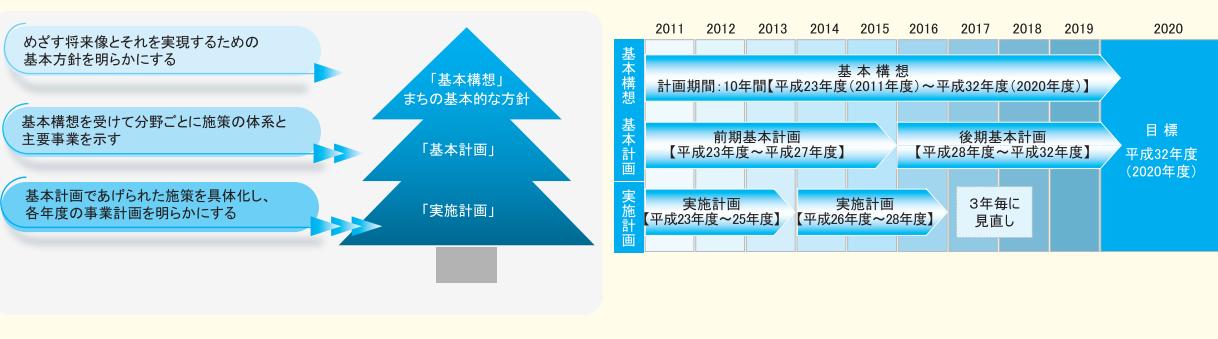
はじめに

●総合計画策定の背景と趣旨

平成12年度に「住みたいまちナンバーワン」を将来像としてすすめてきた「第3次豊能町総合計画」も、時代の流れと共に見直しを必要とする時期となりました。そこでさらなる変化と、より豊かな10年後の豊能町のあるべき姿(将来像)を考え、ここに第4次豊能町総合計画を策定します。

●総合計画の構成・期間

本計画は、「基本構想」と「基本計画」及び、別に定める「実施計画」から構成されています。また本計画の目標年次は、「基本構想」については10年後の平成32年度とします。「基本計画」については、社会情勢の変化などを勘案し、中間年度である平成27年度において必要に応じ見直しを図ります。



目標人口

●人口推移の現状と指標

本町の総人口は、平成7年(国勢調査)時の約2万7千人を境に減少し続けています。全国的に人口減少が進むなか、本町の総人口についても、今後減少傾向が続くものと予測されます。今後は本総合計画に掲げる施策を推進することによって、生活の利便性の向上やまちの活力の創出を図り、本構想の目標年次においては、実施計画に基づき定住人口2万人規模のまちをめざすとともに、定住人口の増加やまちの活性化へつなげるために、交流人口の多いまちをめざします。



土地利用構想

●土地利用構想

本町では、人口構造が高齢化していく中で、まちの将来像の実現に向け、土地利用のあり方について図のように方向性を定め、土地利用の推進を図ります。また、良好な市街地景観や自然景観・田園風景を生態系に配慮しつつ、森林機能の維持など、自然環境の保全を進めます。

